

以下の資料に基づき「営業活動によるキャッシュフロー」として正しい額を計算せよ。ただし、受取利息・支払利息は「営業活動によるキャッシュフロー」に記載するとし、支払配当金は「財務活動によるキャッシュフロー」に記載せよ。

(平成27年公認会計士短答式試験改題)

【資料】

BS					
借方	前期末	当期末	貸方	前期末	当期末
現金	10,500	100	買掛金	17,000	20,500
売掛金	23,000	29,000	短期借入金	35,000	32,700
貸倒引当金	△460	△580	未払利息	350	310
商品	12,000	15,600	未払法人税等	2,500	3,430
備品	15,000	18,000	資本金	10,000	10,000
備品減価償却累計額	△2,500	△4,180	利益剰余金	29,690	38,440
投資有価証券	37,000	30,000			
合計	94,540	105,380	合計	94,540	105,380

PL			
売上原価	170,300	売上高	224,000
給料	35,800	受取配当金	1,070
減価償却費	?	投資有価証券売却益	?
貸倒引当金	120		
支払利息	870		
法人税等	6,950		
当期純利益	10,750		
	?		?

- 1, 投資有価証券7,000円の売却を期中に行い、売却代金は現金で受け取った。
- 2, 備品3,000円を期中に手元資金で購入した。
- 3, ×1年度注の配当支払い額は2,000円であった。
- 4, 税効果会計は考慮しない。

解答

5,940円

解説

①営業収入

売掛金	+6,000	売上高	224,000
貸倒引当金	△120		
貸倒引当繰入	120		
CF	218,000		

②仕入支出

売上原価	170,300	買掛金	3,500
商品	3,600	CF	170,400

③人件費支出

給料	35,800	CF	35,800
----	--------	----	--------

④その他

支払利息	870	受取利息	1,070
法人税等	6,950	未払利息	△40
		未払法人税等	930
		CF	5,860

よって、 $218,000 - 170,400 - 35,800 - 5,860 = 5,940$

(参照)間接法

I. 営業活動によるキャッシュ・フロー

税引前当期純利益	17,700	
減価償却費	1,680	} キャッシュの発生しない損益
貸倒引当金の増加額	120	
受取配当金	△1,070	
支払配当金	870	} 営業に関連しない損益
投資有価証券売却益	△1,400	
売上債権の増加額	△6,000	} 債権債務の増減額
棚卸資産の増加額	△3,600	
仕入債務の増加額	3500	
小 計	11,800	
利息・受取配当金の受取額	1,070	} 営業・投資・財務に該当しない キャッシュ・フロー
利息の支払額	△910	
法人税の支払額	△6,020	
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,940	

減価償却費: $\Delta 4,180 - \Delta 2,500 = 1,680$

利息・受取配当金の受取額: PLの受取配当額

利息の支払額: PLの支払利息870+期首の未払利息350-期末の未払利息310=910

法人税支払額: PLの支払額6,950+期首の未払法人税2,500-期末の未払法人税3,430=6,020